

小学生プログラミング
県の最優秀賞に

鎌田さん（付属高松
5年）

全国大会出場へ

全国選抜小学生プログラミング大会県大会（四国新聞社、全国新聞社事業協議会主催）の表彰式が20日、高松市中野町の四国新聞社であった。「みんなの未来」をテーマに、身近な人や地域の明るい未来に役立つ作品を募集。子どもの心の健康状態を記録・共有するアプリを開発した付属

表彰状を手に最優秀受賞を喜ぶ鎌田さん（高松市中野町、四国新聞社）



高松小5年の鎌田千記理さんに最優秀賞が贈られた。鎌田さんの作品は「子供のメンタルヘルスチェックアプリ『ここみる』」。子

どもが自分の気持ちを記録・共有することで、大人や友人らが子どもの気持ちを把握したり、呼びかけを行うことができ、メンタルの異常を素早く見つけることにつながる。

鎌田さんは「プログラミングは、自分で作って思い通りにできるところが楽しい。これからも人の役に立つプログラムを作っていきたい」と笑顔を見せた。3月2日に東京都内である全国大会に出場し、作品の特徴や制作過程について発表する。